

Topix

- ★ながの支部
通常協議会
- ★新役員あいさつ



『記念撮影 ー夏・安茂里ー』

平成16年
第32回長野市野外彫刻賞

峯田 敏郎 / 作
安茂里総合市民センター

令和3年6月撮影

平成16年7月7日(水曜日)、初めて安茂里を訪れました。初夏の暑さがこち良い広場でした。上越に住んだことのある私はよく長野を訪れましたが、安茂里という地名は初めてでした。でも不思議と心に響く言葉で、いつの間にか作品の題名の中に浮かんでいました。『記念撮影ー夏・安茂里ー』です。パブリックアートとしての彫刻は、設置される場所の空間と環境そして気候との共鳴が大切だと考えています。以前からそこに在ったような存在。さらに、作者の心から生まれた魅力ある立体として、いつの時代にも輝いているもの。そんな事を考えながらこの彫刻が生まれました。このような機会を与えてくださった多くの皆さんに心から感謝しています。

【作者のことば・長野市ホームページより抜粋】

◆野外彫刻のお問い合わせ◆

長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL 026-224-7504

ながの支部 今後の予定 7月~8月下旬

月日(曜日)	行事名	場所
7月8日(木)	三役会	web会議 (Zoom)
7月21日(木)	つきいちアーキ・セミナー 「令和元年東日本台風被害からの復活」	長野市生涯学習センター 3階第1学習室
8月19日(木)	幹事会	web会議 (Zoom)
8月下旬	つきいちアーキ・セミナー (まちづくり委員会計画中)	未定

内 容

- ・ながの支部 第3回通常協議会 🖱️
- ・支部活動のご案内 🖱️
- ・新役員就任のご挨拶 🖱️
- ・行政庁プレスリリース 🖱️
- ・ながの支部 ゴルフ大会 🖱️
- ・令和3・4年度ながの支部 委員会委員 🖱️
- ・行政庁だより 🖱️
- ・特別賛助委員会だより 🖱️
- ・特別寄稿 街道シリーズ 🖱️
- ・支部日誌、会員の動き 🖱️
- ・事務局だより 🖱️
- ・編集後記 🖱️

ながの支部 第3回通常協議会

北部ブロック 堀 幸一



5月26日にホテル信濃路に於いて、第3回通常協議会が開催されました。未だコロナ禍での今年の開催は昨年同様に基調講演と懇親会を見合わせ、協議会のみが執り行われました。前年度の事業は延べ24の事業が感染予防のため中止となり、このままでは建築士会としての活動がない生活に慣れてしまうことが危惧されます。今年の参加者も23名と多くはありませんでしたが、コロナ禍の今だからこそ行おうべきことや建築士会のあり方を問いかけるような内容が議題の端々に見て取れました。またご臨席いただきました来賓の方々のご挨拶を通じ、改めて公益としての建築士会の存在意義を感じるとともに、それを実行するためにもセミナーや建築活動、親睦を通し個のつながりの高めていくことの重要性を再確認しました。協議会の最後には新役員も紹介され、コロナウイルスとの共生を目指す社会のなかに、新しいながの支部がスタートしました。

そ行おうべきことや建築士会のあり方を問いかけるような内容が議題の端々に見て取れました。またご臨席いただきました来賓の方々のご挨拶を通じ、改めて公益としての建築士会の存在意義を感じるとともに、それを実行するためにもセミナーや建築活動、親睦を通し個のつながりの高めていくことの重要性を再確認しました。協議会の最後には新役員も紹介され、コロナウイルスとの共生を目指す社会のなかに、新しいながの支部がスタートしました。



■ ■ ■ ■ 支部活動のご案内 ■ ■ ■ ■

◇ 7月つきいち アーキ・セミナー ◇

本年の新年昼食会講演会に予定されていた、穂保在住の関博之さま（本会会員）による「令和元年東日本台風被害からの復活」と題した講演を行います。詳細は折込み広告にてご案内しています。

◇ 長野びんずる 参加見送り ◇



第51回 長野びんずるが8月7日に開催されます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、本年はいろいろな制約の中で開催されます。当支部も平成26年から会員同士の交流と親睦を図り、建築士会をPRする場として参加して参りましたが、本年は感染拡大防止、感染予防のため参加を見送ることといたしました。

楽しみにされていた会員の皆さまには大変申し訳ございません。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

パリパリの最中皮に
自家製の栗あんを
たっぷりつめて
お召し上がりください。

熊出沒注意

信州おぶせくま

くまさんモナカ

ロンと可愛い
くまさんモナカ

小布施 創業元治元年

東風味噌

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施414 TEL 026-247-2145



新役員就任のご挨拶

支部長就任のご挨拶



公益社団法人 長野県建築士会ながの支部 支部長 土倉 武幸

5月26日に開催されました第3回通常協議会にて、支部長として選任いただきました。旧長野支部時代を含め、今期で3期目ということになります。

ですが、何卒よろしくお願いたします。

前期はコロナ禍にあって、事業の大半について中止とせざるを得ない状況でした。事業が無いということは、どうしても会に所属するメリットに乏しいということになり、退会につながる場面が増えてきております。

そんな中、今期は支部として「貪欲に学ぼう」をテーマとして掲げさせていただきました。コロナがきっかけとなり時代の流れが一気に加速した感があります。建築士会の事業としては従来、法規等の講習会や建築の見学会等が定番だったわけですが、変化の時代を乗り切るには、狭い範囲の業界知識の習得だけでは足りないと言わ

ざるを得ません。私たちは、公益社団法人の一員として、社会課題の解決も視野に入れながら、建築士の業務を遂行するために必要な周辺知識を得られるような事業を展開していきたいと考えております。また、会員さんの中には、その道のエキスパートと呼ばれるような方々が沢山いらっしゃいます。今まで会うことが無かった会員さん同士が、繋がることのできるようなコミュニケーションの場も構築していきたいと考えております。

これらの事業を数多く展開するには、役員さんの負担増等の問題があると思いますが、コロナのために急速に利用機会が増えたオンライン～や様々なITツールの活用によって、負担を抑えながら実現していきます。

あらゆる機会を通して“貪欲”に学ぶ中で、コロナ禍転じて福として参りたいと思いますので、会員各位の積極的な参画をお願いいたします。

副支部長就任のご挨拶

副支部長 久米 えみ

この度、(公社)長野県建築士会ながの支部、4期目の副支部長を務めさせていただきます久米えみです。

昨年は突然の未曾有の災禍の中、支部活動のほとんどが中止となる事態となり「zoom会議」を導入しての三役会・幹事会を続けながら、今後の法人団体の方向を探る日々となりました。前期より担当してまいりました西鶴賀特別委員会につきましても、蜜を避け安全な活動を探りながら進めました。

今期では、青年女性委員会担当及び引き続き西鶴賀特別委員会を担当させていただきます。

コロナ禍で会員減少が止められない状況ではありますが、このような背景を乗り越える法人団体の可能性を今期も探りながら、地域社会の中での建築士の役割と、建築士会の意義ある活動につなげていかれるよう、今後の支部活動には細心の注意を払いながら進めてまいります。支部長、幹事の皆様そして会員の皆様と一緒に考え頑張る所存です。会員の皆様宜しくお願い致します。

副支部長 西堀 真二郎

前期に引き続き副支部長を務めさせていただくことになりました。非力では有りますが頑張りますのでよろしくお願いたします。最近では建築士の社会的意義が見直

され、生活の中でたびたび活躍が期待されています。我々、建築士会でも他方面にわたり研修会や研究会を企画し、またレクレーションや法規講習なども開催し自己研鑽や社会的貢献に取り組んでいます。新しく入会された方や、会費だけは納めるが何も参加していない方は、今年度から思い切って参加されてみてはいかがでしょうか。土日の企画もありますし、仕事に役立つ事業もごさいます。新しい体験や人とのつながりに新発見ができると思っています。

引き続き、会員の親睦や情報交換の場を設けて、意義のある活動をしていきたいと考えていますので、ぜひご協力・ご参加をお願いします。

副支部長 勝山 敏雄

この度、副支部長を務めさせていただくことになりました。まちづくり委員会、防災委員会を担当させていただきます。新しいながの支部となり、1年が経ちましたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、皆で一緒に活動することができませんでした。一刻も早く終息し、皆が顔を合わせて活動できることを切望しています。今年度もつきいちセミナー等多くの事業が企画されています。ひとりでも多くの方に参加していただけるように、微力ながら頑張りたいと思います。



■北部ブロック

ブロック長 関口文弘

本年度、ながの支部第3回通常協議会におきまして北部ブロック長を拝命しました関口文弘と申します。

西三才の小さな工務店で仕事をしており、趣味は音楽とスポーツです。

建築士会に入会してから6年目になりますが、これまで青年・女性建築士委員、総務情報委員に所属させて頂いておりました。

前齊藤ブロック長、長きに渡り大変お疲れ様でございました。私のような若輩者が齊藤先輩の後をお受けするのは非常にプレッシャーではありますが、ながの支部皆様の力をお借りして楽しく務めて参りたい所存であります。どうぞよろしくお願い致します。

■南部ブロック

ブロック長 原山 泰

この度、二期目としまして南部ブロック長をお引き受け致しました原山です。第2ブロック時代からは都合三期目となるため、今期は次世代に繋げる事を目標に活動してまいりたいと存じます。

毎度のことで恐縮ですが、私の持論は「基本的にブロックの活動に公益性は無い」と考えています。一般の方々を巻き込む公益的な活動を立案するのは支部や本会にお任せし、ブロックの活動としては、あくまでも、同業者の仲よし倶楽部でありたいです。コロナ禍という大きな敵は蔓延しておりますが、そんな中でも「親睦を深め」「気軽に相談しあえる仲間を増やす事」を目的にブロックの活動を行って参りたいです。ブロック会員諸氏のご協力をお願いいたします。

■須高ブロック

ブロック長 佐藤 一利

前期に続き、須高ブロック長をお引き受けいたしました佐藤です。宜しくお願い致します。

昨年は、新型コロナウイルスのため、会員の皆様にお会いする機会がなく大変残念でした。

今期は、少しでも早く例年通り事業が行えるよう願っています。

私も微力ながら、ながの支部及び須高ブロックの発展のために力を注いでまいりますので、皆様のご協力をお願い致します。

■会計幹事

会計幹事 吉澤 まゆみ

この度、会計幹事をさせていただきます、須高ブロックの吉澤まゆみです。

まだまだ大変な世の中ですが、皆さまの活動が、滑らかに進みますよう、先輩役員の方々の（に？）指導を仰ぎながら努めて参ります。

支部会員の皆さま、お手柔らかによろしくお願い致します。

■総務情報委員会

委員長 宮之内 寛

引続き、総務情報委員長を務めさせていただきます宮之内です。

須高支部合併より“ながの支部”として新たにスタートを切って早2年が経過致しました。

誰もが想定しなかった<<疫病コロナ>>により、主な支部活動はこの一年・中止・延期・自粛を余儀なくされました。こんな中ですが、支部長の基本方針『貪欲に学ぼう』に向けて・・・

皆さんのお力を借りながら努めていきたいと思えます。宜しくお願いします。

■建築活動委員会

委員長 緑川 直彦

前期に引き続き建築活動委員会の委員長を務めさせていただきます。宜しくお願いします。前期は、コロナ禍で研修旅行や講習会などが出来ず、消極的な活動となってしまいました。今期はその反省を踏まえ、この状況下でも可能なところから、会員の皆さまに役立つような「学び」の機会を作っていきたいと思えます。良い企画やアイデアがありましたら、ぜひご提案下さい。多くの方の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

■まちづくり委員会

委員長 山口 満

昨年度までの期に引き続きまちづくり委員会の委員長を務めさせていただきます山口満です。一昨年度は『「フォトモ」で簡単！まちの刺激を切り取る』、昨年度は『UDC信州！支える・育む・発信する、信州まちづくりネットワークのハブ』につきまして、皆様のご協力のおかげでありがとうございました。引き続き、まちづくり活動を通してたくさんの方と知り合いになれるような事業、そして多くを学べるような事業を計画していきます。どうぞよろしくお願い致します。



■防災委員会

委員長 下崎 明久

このたび防災委員会の委員長に就任しました下崎明久です。今年度の防災委員会としましては、応急危険度判定士の連絡網整備、及び須坂市・飯綱町・信濃町・小布施町・小川村・高山村と提携されている「被災建築物応急危険度判定」の体制整備が活動の大きな柱になることと思います。実際の災害時には建築士会として迅速に対応できるための体制整備は重要であり、またその先には、実際の災害対応についての具体的な訓練も必要かと考えております。「社会に貢献できる防災委員会」を念頭に微力ながら尽力していきたいと思っておりますので、本委員のみならず支部会員の皆さま、ご協力を宜しくお願い致します。

■青年・女性建築士委員会

委員長 滝澤 文樹

昨期に引き続き青年女性委員長を務めさせていただきます。昨期は、コロナの影響もあり思うような委員会活動を行うことは出来ませんでした。ワクチン接種も始まり、今期は少しずつ活動する機会を設けていければと考えております。

今期の主な活動は、来年度に開催予定の「関プロ長野

大会」への参加・協力、長野大学生との「峰の原高原」での活動を予定しております。関プロ長野大会は、開催都市が長野市ということもあり、我々の支部でもしっかり盛り上げていきたいと思っております。

私自身、至らない部分もあり、皆さんにご迷惑かけることも多いかと思っておりますが、ご協力をよろしくお願いたします。

■特別賛助委員会

委員長 山田 数之

平素より特別賛助委員会へは格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

引き続き、特別賛助委員長を拝命致しました三和シャッター工業株式会社 山田数之と申します。

昨年度の特別賛助委員会は、コロナ禍により具体的な活動が出来ないままに終わってしまいました。

今年度はコロナの状況にも寄りますが、皆様との交流が出来る唯一の催しである「新春交流広場」を何とか開催させて頂きつつ、建築に関わる様々なニーズに合った製品のご提案を会員の皆様へお届け出来るよう特別賛助委員各社努めて参りたいと思っております。

ながの支部を皆様と共に盛り上げていきたいと思っておりますので、今年度も特別賛助委員会をどうぞよろしくお願致します。

行政庁プレスリリース



しあわせ信州



「長野県ゼロカーボン戦略」を策定しました

地球温暖化対策及び環境エネルギー政策を推進するための計画である「長野県ゼロカーボン戦略～2050ゼロカーボン実現を目指した2030年度までのアクション～」を策定しましたので、お知らせします。

下記県ホームページに戦略のポイントを含め、全文を掲載しておりますのでご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp//kankyo/keikaku/zerocarbon/index.html>

建築専用3次元CAD/BIMシステムの販売・サポート。
建築設計・施工・維持管理における新たな仕組み“BIM”を
それぞれのお客様に合った最適な形でご提案致します。



OA機器・測量製図機器・コンピュータ機器

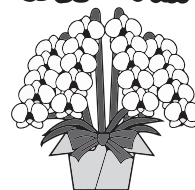
株式会社 **イトウ**

<http://www.itoh.co.jp/>

最新の情報と技術をお客様とともに創造し、最適なソリューションをご提案致します。

〒381-0024 長野県長野市南長池498-1
TEL:026-221-4101 FAX:026-221-5313

お祝いや贈り物に花ギフトご注文承ります。



胡蝶蘭などご予算に応じて、ご用意いたします。また、配達も承っておりますので、ご用命ください。
(※小布施町内配達無料)

フローラルガーデンおぶせ

〒381-0209 上高井郡小布施町大字中松 506-1
TEL:026-247-5487 FAX:026-247-5488



表紙に戻る

令和3・4年度ながの支部 委員会委員

	総務情報委員会	建築活動委員会	まちづくり委員会	防災委員会
委員長	宮之内 寛	緑川 直彦	山口 満	下崎 明久
副委員長	緒方 哲生	中山 雄二	相野 律子	高山 靖
副委員長	西澤 哲	馬場 由喜美	水越 正和	町田 俊通
1	内山 卓太郎	相野 徹	池森 梢	相野 律子
2	尾澤 貢	畔上 豊	内山 卓太郎	池森 梢
3	河野 克己	緒方 哲生	風間 崇典	内山 卓太郎
4	関 博之	勝家 宏郎	久米 勇一	風間 崇典
5	田村 正治	久保田 明	黒岩 靖志	久米 勇一
6	丸山 啓一	鈴木 由樹也	小林 克己	黒岩 靖志
7	山口 英彦	鈴木 芳彦	下崎 明久	小林 克己
8	堀 幸一 ※編集長	住岡 雅将	高山 靖	野口 英俊
9	村本 純一 ※副編集長	武 雅繁	野口 英俊	原山 勇
10	上原 良知 ※	竹中 正博	原山 勇	広瀬 毅
11	小野里 幸織 (兼青年) ※	西澤 哲	広瀬 毅	水越 正和
12	川村 和廣 ※	西澤 秀樹	宮本 修	宮本 修
13	永井 寛治 ※	松下 明夫	吉澤 まゆみ	山口 満
14	和出 賢司 ※	水野 忠道		吉澤 まゆみ
15	緑川 直彦 (建築) ※	宮坂 信之		
16	山口 満 (まち) ※	森 望		
17	下崎 明久 (防災) ※	山口 敬一郎		
18		吉田 一彰		
19	※編集部会員			
20	() は編集部連絡員			
賛助会委員	三和シャッター工業(株)	(株)サンゲツ	(株)コーケン	タカラスタンダード(株)
賛助会委員	(株)カネト	アイカ工業(株)	元旦ビューティ工業(株)	リンナイ(株)
賛助会委員	三協立山(株)	文化シャッター(株)		
賛助会委員	(株)LIXIL			
担当役員	西堀 真二郎	西堀 真二郎	勝山 敏雄	勝山 敏雄

	青年・女性建築士委員会	まちなか特別委員会	特別賛助委員会 13社
委員長	滝澤 文樹	久米 えみ	三和シャッター工業(株)
副委員長	北村 あや香	内山 卓太郎	(株)カネト
副委員長	黒岩 靖志		(株)サンゲツ
副委員長	小林 愛枝		
1	相野 律子	池森 梢	アイカ工業(株)
2	池森 梢	井出 正臣 (佐久支部)	元旦ビューティ工業(株)
3	大島 翔吾	小澤 廣勝	(株)コーケン
4	大宮 明子	風間 崇典	三協立山(株)
5	尾崎 佳史	勝山 敏雄	タカラスタンダード(株)
6	小澤 廣勝	北村 あや香	TOTO(株)
7	小野里 幸織	久米 勇一	文化シャッター(株)
8	大日方 紘子	黒岩 靖志	(株)LIXIL
9	笠井 翔太	小林 克己	リンナイ(株)
10	寺澤 彰訓	小林 愛枝	YKK AP(株)
11	中澤 和佳乃	下崎 明久	
12	中根 雄一	滝澤 文樹	
13	服部 雅哉	寺澤 彰訓	
14	丸山 啓一	丹羽 正道	
15	吉澤 まゆみ	馬場 由喜美	
16		松橋 寿明	
17		宮坂 信之	
18		山口 満	
19		吉澤 まゆみ	
20			
賛助会委員	TOTO(株)		
賛助会委員	YKK AP(株)		
賛助会委員			
賛助会委員			
担当役員	久米 えみ	土倉 武幸	土倉 武幸

令和3年6月15日に開催されました、支部幹事会において承認されました。

各委員会委員
随時募集中



住宅耐震改修事業補助金 補助率の引上げについて

令和3年度から『住宅耐震改修事業補助金』の補助率を2分の1(50%)から5分の4(80%)に上げました。

<耐震改修工事 補助制度拡充の概要>

■通常の補助：耐震改修工事費の **5分の4以内(80%)** の額かつ上限100万円

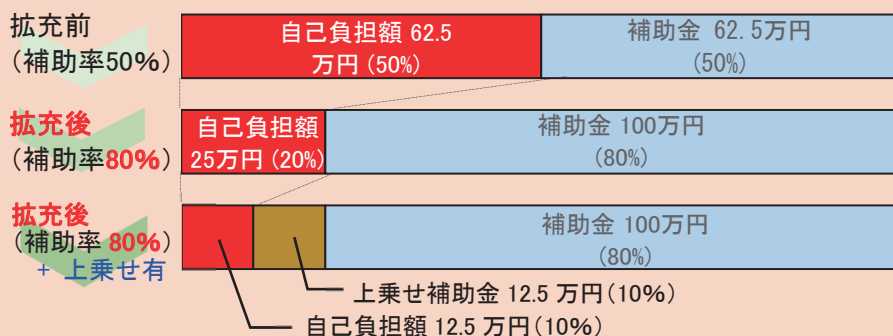
■上乗せ補助：耐震改修工事費の10分の1以内の額かつ上限20万円

通常補助 と 上乗せ補助 を合わせると **最大120万円補助**

※上乗せ補助の申請ができる方：補助金の申請ができる方で、前年度の所得金額が200万円以下の方。

<参考例>

■耐震改修工事費が125万円の場合【自己負担額の割合が最小となる場合】



実際に耐震改修工事を行なうとなると、所有者の負担は「費用」だけではなく、住みながらの工事となることから「工事中の生活に対する不安」などを理由に工事をあきらめてしまうケースも多く見られますが、極力、生活に支障の出ない改修プランを計画することにより、少ない負担でご自宅を耐震化することもできます。

ー さらに耐震改修工事の負担を軽減するためのポイントー

「安価な工法」の採用

工事費用が抑えられるよう工夫された工法で、安全性もしっかり確保されています。床や天井を壊さずに施工可能な工法も多いため、工事による生活への影響や工事費用を軽減することができます。

「代理受領制度」の利用

市から給付される補助金を申請者に代わって耐震改修工事を実施した事業者が受け取る制度です。一時的な費用の負担を軽減することができます。

段階的な「耐震改修工事」

必要とされる耐震性能を「1」とした場合、第一段階として、市の補助金を活用して耐震性能「0.7」以上となる工事を行い、次の段階で「1」を目指すなど、自己資金に応じた耐震改修を行うことで倒壊リスクを低減できます。

※住宅耐震改修補助金の対象となるのは、最初に行う工事1回のみとなります。

お問い合わせは ~ 窓口相談も行っていますので、お気軽にご相談ください ~
長野市役所 建築指導課 建築防災対策室 (第二庁舎7階)
 〒380-8512長野市大字鶴賀緑町1613番地 電話：026-224-6753



市街化調整区域における建築物の用途変更や譲渡の制限について

市街化調整区域は市街化を抑制する地域のため、都市計画法により開発行為や建築行為が制限されています。つぎの点にご注意くださいますようお願いいたします。

許可書に記載された予定建築物の用途以外の建築物は建築できません。

開発区域には、「許可通知書」に記載されている「予定建築物の用途」以外の用途の建築物を建築することはできません。また、建築した建築物を「予定建築物の用途」以外の用途に変更することについても制限があります。

建築物の譲渡について、制限があります。

開発許可を受けた方以外が開発行為や建築行為を行うこと、あるいは開発区域内に建築した建築物の使用主体となることについて制限があります（開発許可を受けた方から相続により土地建物等の権利を取得した場合を除きます）。

造成工事の完了検査を受けてから、建築工事に着手してください。

開発許可を受けた土地では、開発行為に関する造成工事の完了検査に合格するまでの間は、建築物を建築することはできません。

開発行為に関する造成工事が完了になりましたら、届出をし、完了検査を受けてください。

以上のとおり、市街化調整区域で建物を建築する場合は、都市計画法により建築物の用途変更等の制限がありますので、十分にご注意くださいますようお願いいたします。今回の開発地を将来にわたって適法に使用していただきますようご理解をお願いいたします。

なお、建築物の用途を変更する場合、あるいは建築物の譲渡を検討する場合は、建築指導課開発担当までご相談をお願いいたします。



不明な点はお問い合わせください

長野市大字鶴賀緑町1613番地
長野市建設部建築指導課 開発担当
直通電話：026-224-7292



価値ある空間を創造する壁紙の見本帳

XSELECT

WALLCOVERINGS 2021-2024

エクセレクト プレミアムセレクション

素材系壁紙・輸入壁紙



2021.4.22
NEW
RELEASE



sangetsu
Joy of Design

株式会社 サンゲツ
本社 / 名古屋市西区幡下 1-4-1
www.sangetsu.co.jp



ホーロークリーン浴室パネルのカラーがリニューアル!

毎日使う人への思いやりにあふれた素材選びと、シンプルで丈夫な造りで、美しさも使いやすさもずっと続くタカラスタンダードのシステムバス。さまざまな暮らしのかたちにフィットする、個性豊かなブランドラインナップをご用意しています。



TAKARA STANDARD QUALITY



POINT 1

きれいな浴室は
心も身体もリフレッシュしてくれる

普段のお手入れは入浴後に
サッとシャワーで流すだけ。
カビにも強いから、
ずっとキレイが続きます。



POINT 2

肌寒い日でも浴室は
ほかほか暖かい

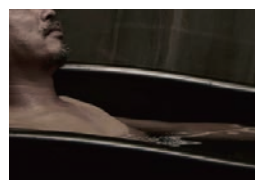
浴室をまるごと保温材で包んだ
タカラスタンダード独自の
「パーフェクト保温」だから、
冬場の入浴でもあたたか。



POINT 3

お風呂も収納にこだわりたい
自分好みのレイアウトにカスタマイズ

壁パネルにマグネットが付くので、
風呂イスや掃除道具も壁に
「ペタッと」収納でき
掃除がしやすくなります。



POINT 4

1日の疲れを癒やす浴室は
少しでも広い方がいい

家の浴室サイズに合わせて作る
ぴったりサイズシステムバスなら、
規格サイズのユニットバスよりも
広くなります。

— ホーローシステムキッチン — Treasia トレーシア



使う人が長く愛せる「タカラモノ(Treasure)」
のようなキッチンになってほしい。
そんな想いを込めて作り上げたキッチンです。



— ホーロー洗面化粧台 — Famile ファミュー



タッチレス水栓

手をかざすだけのカンタン操作で衛生的



水張りや歯ブラシ洗浄の
時には、水栓の左に手を
かざすだけのカンタン
操作で連続吐水ができます。

給湯器のお取替えて マイクロバブル入浴をご家庭に

長野市で唯一タカラスタンダード長野ショールームに
実物があり!! ご見学できます!!



人気の白濁のお湯をご家庭に

業界最高水準の白いお湯を実現しました。
従来製品に比べ、白濁度は2倍以上です。
実際に体験された方からは
「さら湯よりも上質で、高級な印象を受ける」
「湯に入っているようで、入浴自体が楽しい」
といった声をいただいています。

優れた保温・保湿効果

全身を包み込むお湯によって、お湯の熱が芯まで
伝わり、湯上りの後の風冷感を持続します。
また、マイクロバブルの微小な泡が皮膚表面の
汚れをやさしく洗浄、さら湯のどじろ感
をなくし、めらかな湯ざわりと肌のしっとり感
を感じていただけます。



保温
さら湯と比べ、お湯の熱が芯まで
伝わり、湯上りの後の風冷感
が持続するため、
手足の冷えが
気になる方!



洗浄
細かい気泡が毛穴に
届き、こびりついた
汚れをかき
だし清潔に保ちます!



リラックス
湯泉のような入浴後の
リラックス感が、
夜間に!



保湿
保湿クリームのような
肌のしっとり感、
潤いを!



敏感肌の方・お子様にも安心

水と空気だけで生まれ出される白濁のお湯は、
肌への刺激が心配な方やお子様でも安心して
お使いいただけます。マイクロバブルがユニット
によって入浴剤を使わなくても入浴に、湯によりも
もっとやさしく、リラックスした時間をもちます。

タカラスタンダード株式会社

〒381-2215 長野市稲里町中氷鉦595

電話：026-254-7750 FAX：026-254-7715



表紙に戻る

東海道五十三次の内

宇津ノ谷～岡部宿まで歩く

「近代紅茶発祥の地」を離れ、岡部宿に向かって歩く。途中「道の駅 宇津ノ谷」に寄る。国道1号線を挟んで静岡市側（上り線、下り線）と、藤枝市側（上り線）の3箇所に鉄筋コンクリート造平屋建ての道の駅がある。3箇所の駐車場（建物）からどの駐車場（建物）へも行ける様に高架橋で国道1号線をまたいでおり、近隣では見られない、かなり大きな道の



国道1号線を挟んで3箇所ある「道の駅 宇津ノ谷」

駅だ。トイレタイムと買い物をする。3箇所の建物でつながっている大きな道の駅で迷子になりそうになり、集合時間に遅れそうになり焦る。ここでは地場産業の名産物、土産類、色々なゲーム等、時間の経つのを忘れさせる。それが3棟あるのだから凄い。

道の駅を離れて、旧東海道 宇津ノ谷集落に入る。集落では江戸時代に宿場で使った各戸の「屋号」が書かれた「カンバン」が新しく下がっている。この「カンバン」を見ながら歩くのも「街道を歩く」という雰囲気がある。色々な屋号があり、その集落で屋号を言うとどの家かすぐにわかる様になっている。有って無さそうな我が家と同じ屋号をこの集落で見つけた。



宇津ノ谷集落入口

集落を出て山道を上って行き、振り返りながら下を見ると、先ほど通った街道とその両側の家並みが見える。その揃った家並みのいぶし銀の瓦が、まるで映画に出てくるシーンの様に美しく見え、感激する。江戸時代の「屑屋根葺き」ではないが、いぶし銀もいいものだ。上から見る街道の揃った屋根はきれいに見える。



「車屋」と屋号が書かれた家

山道を上り、宇津ノ谷峠の手前に、天正18年（1590年）豊臣秀吉が小田原攻めの際にこの茶屋に寄り、馬の草鞋のことでこの茶屋の店主を気に入り、豊臣秀吉の陣羽織を与えたとされる由緒ある「御羽織茶屋」があった。この時豊臣秀吉が通った道が江戸時代の東海道になっているとの事。その後徳川家康も訪れて茶碗を贈り、縁起の良い茶屋として参勤交代の大名もこの茶屋に寄ったら

しい。この東海道は別名「大名街道」と言われた。以前の東海道は「蔦の細道」と呼ばれているもっと細い道で急な道だと後になってわかる。

ここ宇津ノ谷には、使っている（中に入れる）「明治のトンネル」と、使っていない（中に入れない）明治のトンネルが有り、「昭和の第一トンネル」と、「昭和の第二トンネル」、「平成のトンネル」と、明治から平成まで国道1号線のトンネルとして5個作られたという。昭和の第二トンネルは国道1号線の片側として今も使われているとのウォークリーダーの説明。



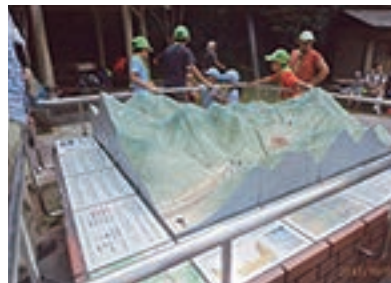
「御羽織茶屋」

カンテラ風の黄色い光がトンネルの中から出ている。このトンネルは中に入れる「明治のトンネル」で、皆と一緒にこの中にはいる。奥に行っても同じなので途中から引き返す。この「明治のトンネル」の説明板、縮小模型、地図などが展示してある所へ行ってみる。この「明治のトンネル」は「明治宇津ノ谷隧道」として、文化庁の登録有形文化財に登録され、金属製の登録証が入り口に貼ってある。



明治宇津ノ谷トンネル

『トンネルの入り口は明治時代に推奨されたレンガが使っており、明治9年（1874年）閉鎖されたトンネルが出来、このトンネルがカンテラの出火により崩落して使えなくなり、明治37年（1904年）に今使われている（中に入れる）明治のトンネルが開通しました。入り口のアーチ部分のレンガ積みと、中の側面部分ではレンガ



「明治のトンネル」の縮小模型

「明治宇津ノ谷隧道」の登録有形文化財の登録証



「明治宇津ノ谷隧道」の登録有形文化財の登録証





頭に馬の冠をのせている二体の馬頭観音

山が険しいので、古くから道路として使うトンネルを何本も掘り、トンネルでは大変な苦勞をされたと推測されます。』とウォークリーダーの話。

宇津ノ谷峠まで上がるには（登るといったほうが良いのか）やはり長い坂道が続いている。街道脇にはお地蔵さんが何体もあり、お花が飾ってある。お地蔵さんや石仏（特に200年前の頭に馬の冠をのせている二体の馬頭観音）を見ながら坂道を登る。

地蔵堂跡や、その石垣（石の積み方が珍しく積み方の図が書いてある）等の説明板が、山の中の広場に立ててある。また地蔵堂が1箇所だけでなく数箇所



地蔵堂跡

あった事も書いてある。急な山の途中で整地し、石積をしてここにお堂をよく造ったものだと感心する。石垣の石、お堂の木材、屋根材等、どの様にして運んだのか。木材はここで調達したのか、切った木材はこの坂なので「出し」が大変。製材はどうしたのか？ 江戸時代の人はスーパーマンなのか。

汗をかきかき落ち葉のある杉林の細い道を登り、ようやく峠に着く。黄色の小さいプラスチック板に「宇津ノ谷峠」と書かれて、太い杉の木の、目の高さに針



「宇津ノ谷峠」分水嶺

金で巻いて釣ってある。ここが峠だと思うが、何か峠という感激がない。見渡せる空間がないし、峠らしき空間がないし、峠らしき広場がない。すぐに下る道があり、どうもここが宇津ノ谷峠の分水嶺の様だ。下りは細い道で、急坂で大変な所だ。

箱根峠は広い大きな広場、見渡せる景色があり、薩埵峠も大きな広場と見渡せる綺麗な景色があった。宇津ノ谷峠は山が険しく、山の中というイメージで回りの景色が見えない。

宇津ノ谷峠から分かれて下がる古道がある。「鶯の細道」と言われ、平安時代から天正年間まで官道として使われていたという。（前記の通り、豊臣秀吉が小田原攻

の積み方、種類が違ってきます。また使われていない「明治のトンネル」は入り口が塞がれていて中に入ることができません。

す。宇津ノ谷峠は山が険しいので、古くから道路として使うトンネルを何本も掘り、トンネルでは大変な苦勞をされたと推測されます。』とウォークリーダーの話。

めに通った道が江戸時代の東海道になった)

「坂下 あっち、旧東海道 こっち」と書かれた小さい木製の看板があった。

下って岡部宿側に着くと平安時代に使った官道の「鶯の細道」の石碑が旧東海道の道筋のすぐ横に立っている。岡部宿側のここから「鶯の細道」が宇津ノ谷峠まで別なルートで上がっていたのだ。



「つたの細道」の石碑

岡部宿側に着くと鼻取地蔵堂近くに「鶯の道」について駿府代官羽倉外記が選んだ「維径記」の石碑がある。

ウォークリーダーの説明によると『お地蔵さまはインドの大地の神の信仰に起源を持ち、中国に渡り、その後日本に渡った時には、地獄に落ちて苦しむ人を浄土に導く仏様として広まった。峠には「境」として境の信仰＝峠信仰があり、地獄の入り口で人を救う地蔵信仰とつながった様で、宇津ノ谷には峠の両側にお地蔵さんが祀られています』汗をかきかき登った「峠」とは色々な意味があったのだ。お地蔵さん＝子供の守り神とだけしか知らない我々の良い勉強になった。

宇津ノ谷峠から下りきった所が岡部町でようやく峠越えをした。ここに小さい「道の駅」があり、トイレタイムを取る。



「道の駅 宇津ノ谷峠」

この道の駅は、大型車専用の駐車場が坂道に沿ってたくさんあり、その坂道の下の端に木造の小さい売店がぽつんと建っている。何と質素な「道の駅 宇津ノ谷峠」なのか。

長野に帰る大型バスが「道の駅」に待っていた。

歩いた後の筋肉をほぐす運動をしてから乗車する。お茶、アイスクリーム、おにぎり、お菓子、パンなどそれぞれお目当ての食料を買い、車中で腹ごしらえし、眠る。汗をかいた後の気持ち良い眠りである。

諏訪SAで、南信方面に向うバス1台と、中信、北信、東信方面の方が1台のバスに乗り、高速道で長野に到着が22時過ぎになる。バスはその後長野ICから高速道で東信方面に向かった。

昨日歩いた距離が約9km。今日歩いた距離は12km程。今回歩いた距離は少ないが、峠越えをしたので結構歩いた気がする。

次回（岡部宿～藤枝宿）につづく



開催日	行事名	開催日	行事名
5月5日(水)	まちなか特別委員会	6月8日(火)	三役・委員長合同会議 (web会議)
5月12日(水)	三役会 (web会議)	6月12日(土)	まちなか特別委員会
5月16日(日)	まちなか特別委員会	6月15日(火)	幹事会 (web会議)
5月23日(日)	まちなか特別委員会	6月18日(金)	編集部会 (テレワーク活用)
5月26日(水)	支部協議会	6月20日(日)	まちなか特別委員会
5月30日(日)	まちなか特別委員会	6月26日(土)	青年・女性建築士委員会
6月4日(金)	ながの支部ゴルフ大会		

会員の動き

5月末日現在 371名

退会者

4月 南部B 西村 章
5月 北部B 小林 儀市
南部B 植田松太郎

入会者

4月 須高B 小林 昌之

事務局だより

◆長野県収入証紙販売中

支部事務局では長野県収入証紙を販売しております。
確認申請、建設業許可申請等にご入用な方は、ぜひ支部事務局でお買い求めください。

◆住所・勤務先等変更事項がありましたら、事務局へご連絡をお願い致します。

E-mail : jimukyoku@kenchikushikai.info
TEL : 026-225-9980 FAX026-225-9981



信州おぶせ 岩松院
〒381-0211 長野県上高井郡小布施町雁田
tel026-247-5504 fax026-247-6560

あなたの“伝えたい”をお手伝い

自分史、旅行記、絵画集、
写真集、詩集 etc...
お気軽にご相談ください。



企画・印刷 **NS** 有限会社 **長野プリントサービス**
〒380-0836 長野市南県町1057-13 ☎(026)224-8469 FAX(026)224-8648
E-mail nps@janis.or.jp http://www.janis.or.jp/users/nps/

編集後記

～これからの つちおと について～

5月に行われた通常協議会において、これからのつちおとのあり方について協議し承認された内容をご報告します。つちおとは現在の紙媒体を改め、支部ホームページへの完全移行を目標として、本年度はその準備期間に位置づけ両媒体での発行・閲覧を行います。すでに支部ホームページにて、前々号より閲覧が可能です。こちらはカラー版になっておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

おしまいに、ページをめくる感覚や紙の香り、紙媒体には情報を取得する以外にも“豊かさや温かみ”そんな小さな幸福感を知らぬ間に与えてもらっていたように振り返ります。今後、惜しくも紙媒体は姿を消しますが、これからも会員のみなさんの活動に役立つ会報であるよう頑張ります。

(編集長：堀)

